



センサヘッド

型式 VP-8021C-T

仕様書



目 次

1. はじめに.....	4
2. 注意事項.....	4
2-1. 安全上の注意	4
2-2. 使用上の注意	4
3. 特長.....	5
3-1. 製品写真	5
3-2. 製品特長点	5
3-3. 使用アプリケーション例	5
4. 仕様.....	6
4-1. 仕様概要	6
4-2. 仕様詳細グラフ	7
4-3. 外形寸法	9
4-4. 取付け、取外し方法	10
4-5. ケーブル及び配線接続	11
5. センサヘッド校正	12
6. 保証.....	12
7. 連絡先.....	12



1. はじめに

このたびは、センサヘッドVP-8021C-Tをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくために、この「仕様書」をご参照ください。また、安全にご使用いただくために、次の注意事項をお守りください。

2. 注意事項

2-1. 安全上の注意



- ・ 本製品の設置時、動機械の可動部分の近くでは、筐体との「干渉」やケーブル「巻き込み」など危険な状態に十分注意を払い取付け工事を行ってください。また、装置を置かれる場所が安定しない環境で使用された場合に、装置の落下等で事故が発生する可能性が考えられますので使用前は「確実に設置」されている事を確認してください。
- ・ 製品本体に異常な衝撃や過度の圧力等を加えないでください。
- ・ 何らかの要因で製品が帯電されている可能性がある場合は、不用意に本体に触らずアース (FG) 等接地状況の確認を行ってください。
- ・ 絶対最大定格が示された仕様に関しては、一瞬でもその値を超えて使用しないで下さい。
- ・ 電源を逆に接続すると本体が発熱し、内部が破損する可能性があります。接続時には細心の注意を払ってください。
- ・ 本製品を人命に係わる警報装置として使用しないでください。

2-2. 使用上の注意



- ・ 本製品を設置する場合、アース (FG) を必ず接地して使用してください。接地せず使用した場合、破損に繋がる恐れがあります。
- ・ 本製品の接続端子にケーブルを接続する場合、予め作業者と製品の間に電位差が無い事を確認してください。また、物理的な破損を防ぐ為、十分に注意して作業を行ってください。
- ・ 本製品は、仕様に記載された環境にて使用してください。仕様を超える環境で使用した場合に生じた本体の破損や計測値の異常による周辺機器の損傷については、すべて保証対象外となります。
- ・ 製品本体を計測対象物の干渉点や動作点等に取り付けた事によって生じた計測対象物の破損や作業事故に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・ 本製品を計測対象等に固定する場合は、必ず弊社対応アダプタをご使用ください。
- ・ 本製品は、精密計測デバイスです。計測精度を保つ為にも1年毎の校正を推奨します。

なお、不明な点や異常を感じた場合には、本書連絡先の最寄りの営業所へご連絡をよろしくお願い申し上げます。



3. 特長

3-1. 製品写真



図 1. 外観写真

3-2. 製品特長点

- ・ MEMS 技術による高周波対応加速度センサを採用
量産効果による高いコストパフォーマンスを実現しました。
- ・ 従来の圧電加速度センサと互換性の高い筐体
M6 ネジマウントにより、そのままの設置位置に置き換えが可能です。
- ・ 電圧駆動対応
一般的な計測機器との組合せが容易な電圧駆動電圧出力タイプです。
- ・ 小型及び軽量化
従来の振動加速度センサより、小型化及び軽量化を行いました。
- ・ 設備診断に使いやすい 1 軸型
ベアリング等の設備診断時に使いやすい 1 軸タイプです。
- ・ 接触面温度を振動と同時計測
センサが接している面の温度を同時に計測する事が可能です。
- ・ 振動診断アンプ (CP-9011-AL) 専用センサ
振動診断アンプ (CP-9011-AL) と組み合わせて使用する専用センサとなります。

3-3. 使用アプリケーション例

- ・ 機械設備診断 (CMS)
- ・ FA ライン等に於ける振動監視及び計測
- ・ 空調ファンの異常振動監視



4. 仕様

4-1. 仕様概要

Spec	Min	Typ.	Max	備考
加速度測定仕様				
センサ分類	筐体非絶縁電圧駆動タイプ			
加速度感度	-5%	3.9mV/(m/s ²)	+5%	12V印加時
加速度直線性		±5%		
温度感度特性誤差		±3%		25°C基準
振動周波数範囲	20Hz		3kHz	±1dB
	10Hz		8kHz	±3dB
	10Hz		10kHz	±4dB
最大計測加速度		490m/s ²		
ノイズ密度		550(μm/s ²)/√Hz		10Hz to 10kHz
バイアス出力電圧		2.5V		
温度測定仕様				
温度計測範囲	-30°C		+120°C	※1
出力電圧範囲	0V		5V	(注意)参照
温度基準		2.5V		25°C時
共通仕様				
使用温度範囲	-30°C		+120°C	※2
電源電圧	-30%	DC12V	+20%	※3
消費電流	1mA以下			
加速度信号出力抵抗	100Ω			
重さ	15g			ケーブルを除く
筐体材質	Aluminum (5052)			
保護等級	IP67相当			
ケーブル長さ	3m			

※1) 温度出力電圧近似計算 (センサーヘッド接触面温度)

$$y = 0.8628x^4 - 11.757x^3 + 54.868x^2 - 125.62x + 150.44$$

ただし、y:計測温度[°C], x:出力電圧[V]

※2) ケーブルの連続使用温度範囲は80°Cとなります。

※3) 絶対最大定格電圧: 7V~23V (23Vを一瞬でも超えた場合、内部回路が破損します)

(注意)

温度計測は校正されたものではない為、参考値としてご使用ください。



4-2. 仕様詳細グラフ

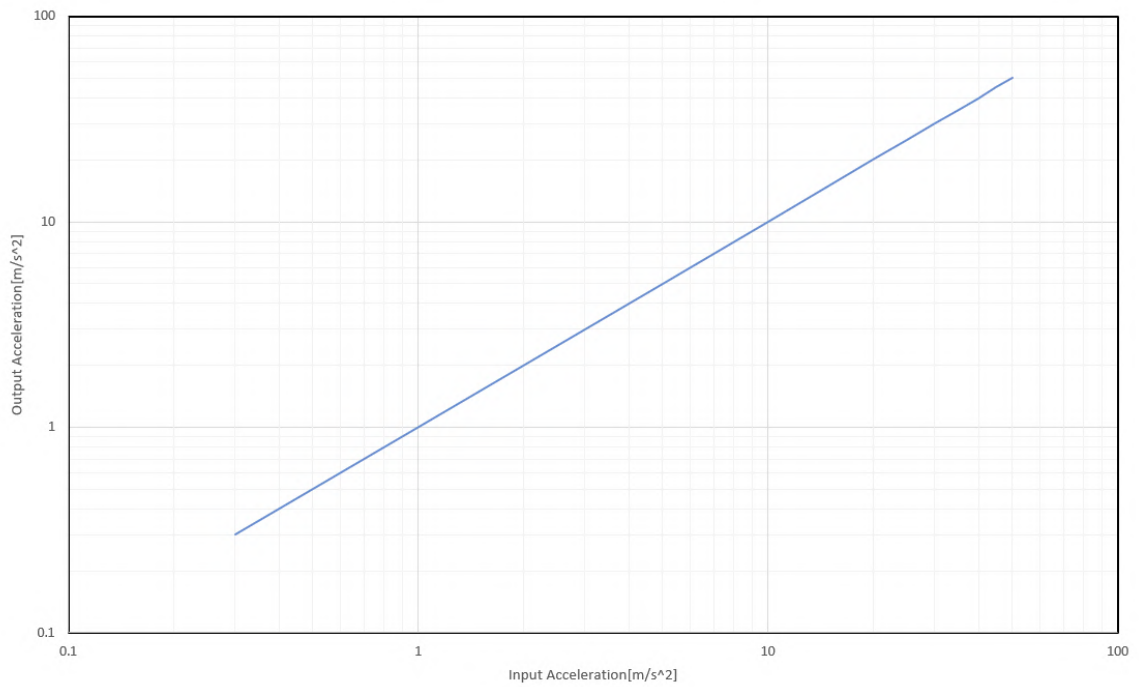


図 2. 加速度直線性グラフ

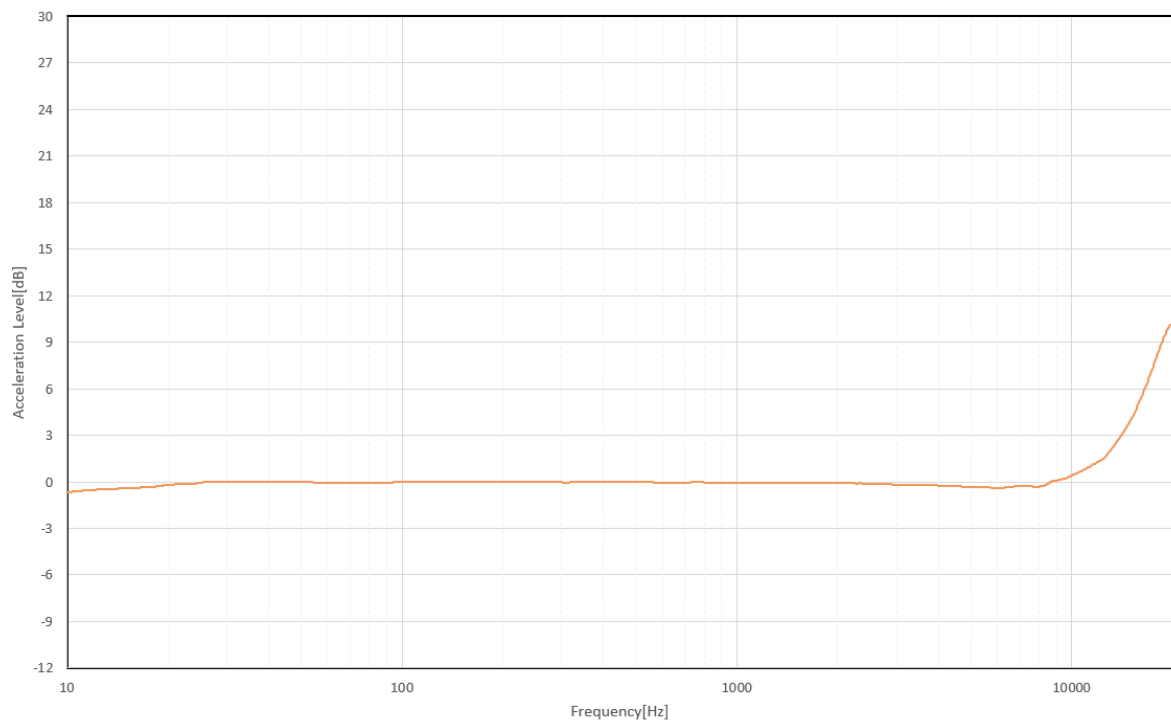


図 3. 振動周波数特性グラフ

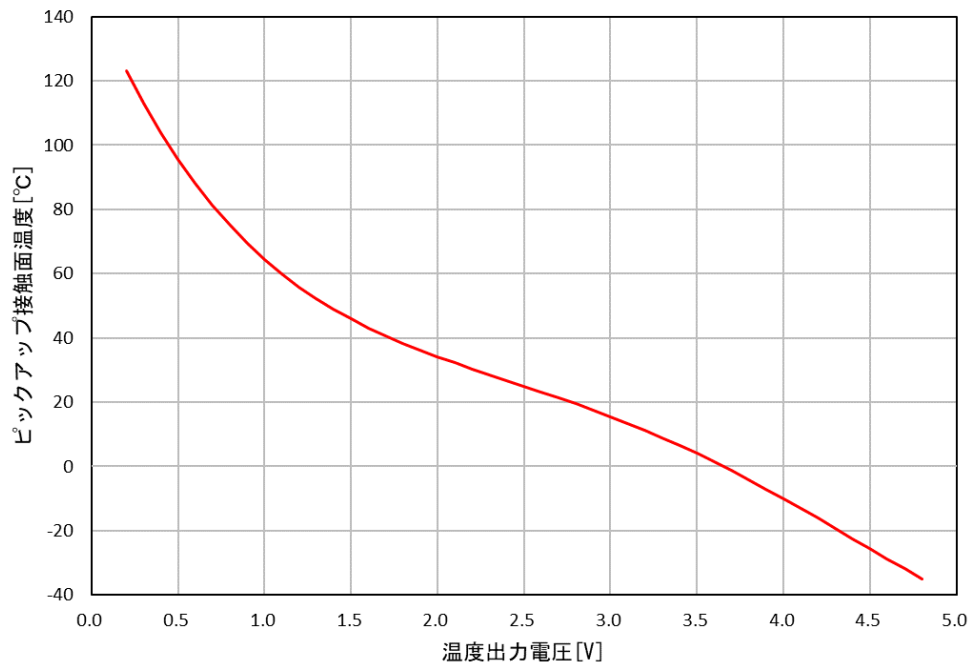


図 4 . 温度計測特性グラフ



4-3. 外形寸法

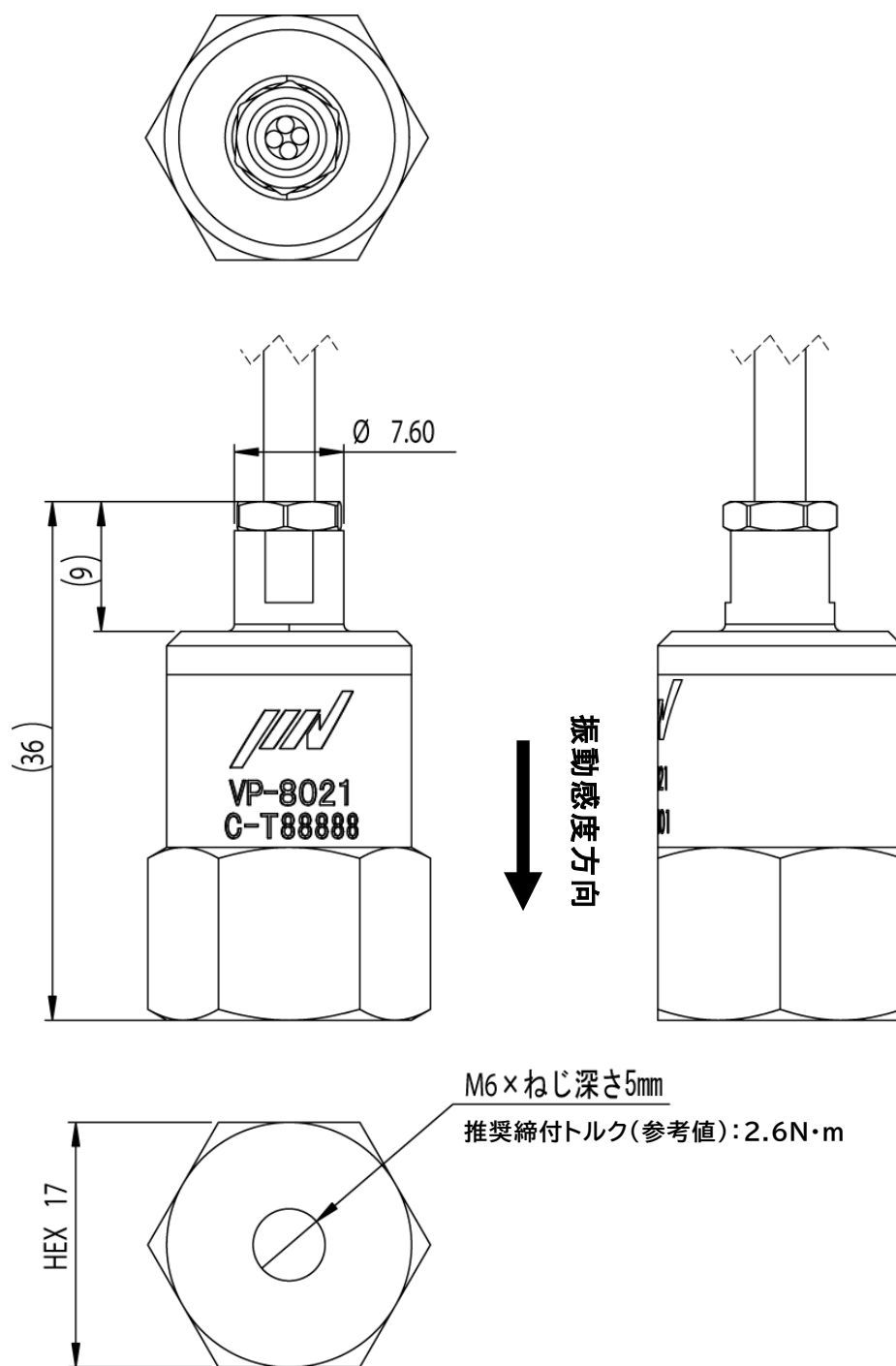
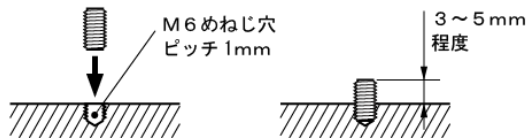


図5. 外形寸法図

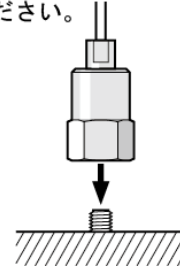


4-4. 取付け、取外し方法

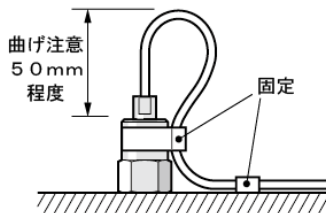
- 1** 計測面に、付属品M6ネジを六角レンチで固定してください。



- 2** ピックアップが密着するように、レンチ等で固定してください。(締め付けトルク2.6Nm) ケーブルにねじれ等ストレスをかけないように注意してください。



- 3** 専用ケーブルの余長はしっかりと固定してください。ケーブルが動くと振動の影響やノイズ発生等で正しく計測できない要因となります。



- 4** 取外しの際は逆の手順で行ってください。

注意事項

- ⚠** ピックアップは精密機器です。過大な衝撃は破損の原因となりますのでお取扱いには十分ご注意ください。
- ⚠** 計測面は平坦で且つ、M6めねじ穴（有効深さ7mm以上）が必要です。穴が無い場合は、別紙オプション品を設置条件に合わせてご使用ください。
- ⚠** ピックアップを取付、取外しの際はケーブルにストレスをかけないようにご注意ください。
- ⚠** オプション品を使用した計測の場合でも、下記の手順に従ってご使用ください。
- ⚠** 計測結果は「計測対象の環境」、「ピックアップ」、「接続する計測機器」等の組合せに左右されます。正確な計測について不明点やご質問があれば、販売代理店までお問い合わせください。

※オプション品のラインナップ、選定については販売代理店までお問い合わせください。

(案内)

設備診断時の取り付け位置に関しては、弊社「なるほど！振動計」をご参照下さい。



4-5. ケーブル及び配線接続

センサヘッドの電気配線は、下図を参照とし対応計測機器へ接続してください。

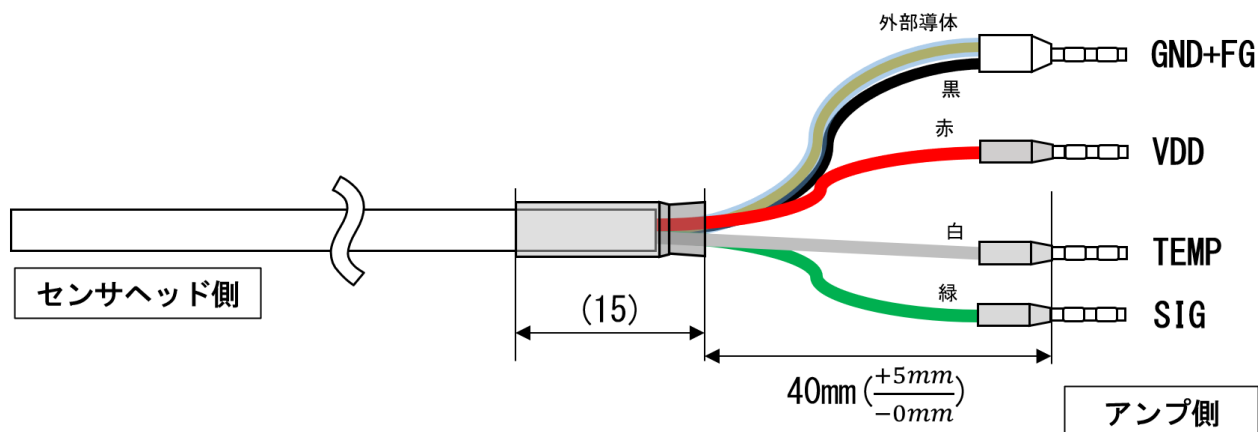


図 7. 専用ケーブル

信号名	接続
VDD (赤)	電源のプラス側に接続 (入力 DC12V)
GND+FG (黒)	共通グランド (電源の基準電位、振動信号の基準電位、温度出力の基準電位およびシールドと共用)
TEMP (白)	設置面の温度出力 (出力範囲 0~5V) ※25℃環境下で約2.5Vの電圧が出力されます。
SIG (緑)	振動信号出力 (バイアス出力電圧 2.5V)

(注意)

電源を逆接続すると破損および発火の恐れがありますので注意してください。



5. センサヘッド校正

厳密な加速度感度及び振動周波数特性が必要な場合は、センサヘッド校正をご用命ください。校正に必要な費用や日数に関しては、取扱代理店もしくは弊社営業所までお問い合わせください。

6. 保証

本製品は厳重な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製作上の不備、材質上の不備等で、明らかに当社の責任による原因で故障した場合には、無償にて修理または新品交換致します。

この場合、保証期間内に限ります。本製品の保証期間は納入日より1年間です。但し、保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- (1) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷
- (2) 納入後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
- (3) 使用上の誤り、異常電圧の印加、御客様による分解・修理・改造等により発生した故障及び損傷

7. 連絡先



IMV株式会社 <https://we-are-imv.com/>

MES事業本部 予知保全ビジネスユニット

電話：050-1745-6779

[mail:info-yochi-hozen@imv-corp.com](mailto:info-yochi-hozen@imv-corp.com)



(*) 本仕様内容は、予告無しに変更される可能性があります。

製 作 者 I M V 株式会社
仕 様 書 番 号 TVE-5-8781
表 紙 共 13 枚

＜お問合せ先＞	バージョン	1.10.000
	最終更新日	2026/04/09